

第3学年 道徳科（人権）学習指導案

1 主題 相手を受け入れ尊重し合って生きる

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

過去の過ちで人を判断することの誤りを理解し、常に多面的、肯定的に周囲の人や物事を見つめ、真実を確かめたり、反省し、前向きに頑張ろうとする相手を受け入れたりし、共に尊重し合って生きていこうとする態度を養う。

4 指導計画

(1) これまでの学習

- ・道徳科「りつとにじのたね」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- ・道徳科「思い切って言ったらどうなるの?」・・・・・・・・・・ 1時間

(2) 現在の学習

- ・道徳科「たった一度だけの」（ひかり）・・・・・・・・・・ 2時間（本時 2／2）

(3) これからの学習

- ・学級活動「係活動をよりよくしていこう」・・・・・・・・・・ 1時間
- ・学級活動「ぼくだけのこと」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

5 本時の学習

(1) 目標

過去の過ちで人を判断することは誤りであることを理解し、真実を確かめたり、反省し、前向きにがんばろうとする相手を受け入れたりしながら、共に尊重し合って生きていこうとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値	B-（10） 相互理解、寛容
-------------	----------------

(2) 普遍的な学習のテーマ 互いの尊重、多様な見方

個別人権課題名 刑を終えて出所した人

(3) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 前時の学習を確認し、本時の学習課題をつかむ。	○ 特に大事な場面はイラスト等を用いながら取り上げ、話の流れや登場人物の関係を思い出せるようにする。 ○ それぞれの言動の裏にある思いや考えを自分に近づけながら考えられるようにする。
キミエが言いたかったことを想ぞうし、自分ならどうしたいかを考えよう。	
2 キミエが言いたかったことについてグループで話し合う。	○ 明るく生きているたかひこを、キミエが仲間として受け入れようとしていることに気付かせる。 ○ キミエと自分たちを重ねながら考え、具体的な台詞で表現できるようにする。 ○ 噂や一回の誤った行動で人を判断することは誤りであることを理解させる。 評価【演技・発言】①
3 役割演技を通して、決めつけや偏見について考える。	
4 自分にも思い込みや決めつけの心がないか振り返り、これからどんなことを意識して生活していきたいかを考え、本時のまとめをする。	
	○ 必要に応じ、日常の具体的な場面を取り上げるなどして、考えやすいようにする。 ○ 誰に対しても、偏見をもたず、相手を正しく理解し、支え合って生活していこうとする意欲を高める。 評価【ワークシート・発言】②

(4) 評価

- ・過去の過ちで人を決めつけることは誤りであることを理解することができたか。 【知識的側面】①
- ・周囲に流されることなく、正しいことを自分で確かめたり、頑張ろうとする相手を受け入れたりしながら、共に尊重し合って生きていこうとする意欲を高めることができたか。 【価値的・態度的側面】②